

MICHELIN

～ミシュランガイドマップ in 大歩危・祖谷～

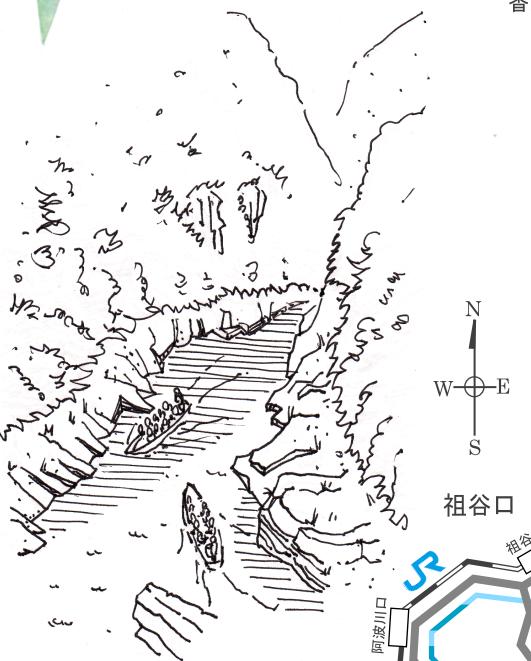


香川県方面

徳島市方面

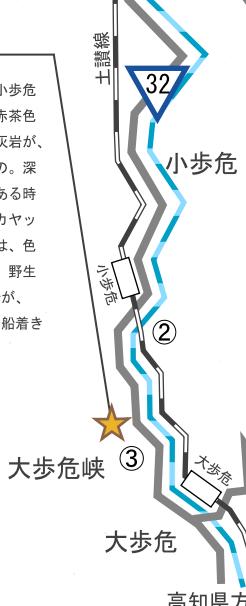
祖谷渓は、祖谷の中では最も観光客の訪れる場所である。特に、西祖谷集落と北に位置する祖谷口とを結ぶ約20キロの曲がりくねった街道沿い★★（県道32号線旧道）は、景観が素晴らしい。崖の上に針葉樹や野生の桜で覆われた斜面が広がる絶景の場所が、いくつも点在している。とりわけ、小便小僧（ベルギーのブッセの像のコピー）は高さ200mの断崖の上に張り出すようにして立っている。小便小僧から100mのところに、ホテル祖谷温泉がある。川岸に面した露天風呂は、非常に気持ちが良い。温泉までは、ケーブルカーで降りていく。

★★祖谷渓



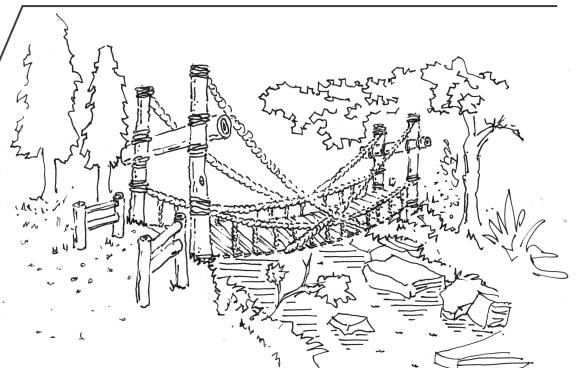
大歩危峡 ★

吉野川渓谷の素晴らしい眺めは、大歩危と小歩危の間約4キロに渡って展開される。灰色や赤茶色の微妙な色が入った頁岩の縞が入った石灰岩が、険しい断崖の窪みへと浸食されてできたもの。深緑色の川の水は、ある時はゆるやかにまたある時は急流となって流れ、特にラフティングやカヤッkingに最適である。深い緑に覆われた河岸には、色々な物の形を想起させる大きな岩とともに、野生動物（猿、羊、鹿）の足跡が残る。遊覧船が、「大歩危峡まんなか」レストランの下にある船着き場から出ている。



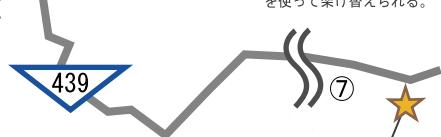
祖谷渓

①



★ 祖谷のかずら橋

全長45m高さ1.5mのこのかずらでできた橋。起源は、平家がこの場所に逃げ延びた12世紀にさかのぼる。平家の兵士達は、もし追っ手が来た場合にその追跡を断つために、ロープを切りやすいようにした。かつては、同様の橋が20程度あったのだが、現在はこの橋とその上流に2つ現存している橋の3つしか存在しない。橋は3年ごとに、中世当時と同じように、葦を架ける技術を使って架け替えられる。



東祖谷

★ 奥祖谷二重かずら橋

四国で2番目に高い剣山（標高1995m）の麓にあるこの橋は、先述のかずら橋よりも訪れる人が少なく、より野趣あふれる自然環境が楽しめる。葛でできた2つの隣り合った橋からなり、「夫の橋」と言われる橋は、「妻の橋」と言われる橋よりも長く、高さも高い。「妻の橋」の方が全体的に小ぶりである。

★ 篷庵（ちいおり）

もともと1720年に建てられた藁葺き屋根の農家で、アメリカ出身の東洋文化研究者のアレックス・カー氏によって買い取られ、改築復元されたものである。ちいおりでは、昔からの建築様式、杉の木を張った床、囲炉裏、そして谷を見渡す雄大な眺めを堪能できる。

